

■ 事後評価(社会資本総合整備計画)

主要幹線から主要病院への
アクセス強化(防災・安全)

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

事後評価書

平成30年11月15日

計画の名称	5 主要幹線から主要病院へのアクセス強化（防災・安全）				重点配分対象の該当	
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）		交付対象	坂出市		
計画の目標						

近年の高齢化社会により、救急搬送活動の件数は増加傾向にある。今後、高齢化の一層の進展により、救急需要はさらに高まる可能性があると考えられる。坂出市において、地域医療支援病院や主要病院が中心市街地に集中していることから、当該路線を整備することにより、アクセス性を改善し、救急時の円滑な患者輸送が行えるようになると共に、歩行者等の利用者の安全確保を図ることを目標とする。

1. 事業効果の発現状況 : 一定の効果があった。

事象発生から救急車が到達するまでにかかる時間を短縮し、到着可能面積を増加させた。
街路を歩車分離し、歩行者等の安全を確保した。

計画の成果目標（定量的指標）

・事象発生から現場までの救急車到達時間の短縮（救急車走行時間3分以内の到達可能面積）

定量的指標の定義及び算定式

救急車走行時間3分以内の到着可能面積を、実地調査により算出される平均走行速度より算出

$$\text{到着可能面積 } a = \pi (v/20)^2 \text{ km}^2$$

$$v: \text{速度 (km/h), } a: \text{到達可能面積 (km}^2\text{)}$$

目標値:
達成値:

定量的指標の現況値及び目標値			達成率	備考
当初現況値	中間目標値	最終目標値		
(H26当初) 4.9km ²	(H28末) 5.3km ²	(H30末) 5.7km ²	88%	到着可能面積 $a = \pi (v/20)^2 \text{ km}^2$ $= \pi (v \times 3/60)^2 \text{ km}^2$ v: 速度 (km/h), a: 到達可能面積 (km ²)
		5.6km ²		

全体事業費	合計 (A+B+C)	741 百万円	A	741 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C)$	0.0%	進捗率 (事業費ベース)	91.0%
全体事業費	合計 (A+B+C)	674 百万円	A	674 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 $C / (A+B+C)$	0.0%		

交付対象事業

A1 道路事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考
										H26	H27	H28	H29	H30				
A1-1	街路	一般	坂出市	直接		S街路	改築 (都) 福江松山線 (西)	現道拡幅 L=0.26km	坂出市						138	138	100%	
A1-2	街路	一般	坂出市	直接		S街路	改築 (都) 室町谷内線	現道拡幅 L=0.09km	坂出市						169	169	100%	
A1-3	街路	一般	坂出市	直接		S街路	改築 (都) 京町線	現道拡幅 L=0.19km	坂出市						364	348	96%	完了
A1-4	街路	一般	坂出市	直接		S街路	改築 (都) 福江松山線 (東)	現道拡幅 L=0.21km	坂出市						70	19	27%	事業費の不足
合計														741	674	91%		

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考
										H26	H27	H28	H29	H30				
合計														0	-	-		

番号 一体的に実施することにより期待される効果

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考
										H26	H27	H28	H29	H30				
合計														0	-	-		

番号 一体的に実施することにより期待される効果

要素事業の事業進捗

概ね計画通り進捗

予算確保が十分でなかったため進捗が遅れている路線もあるが、概ね計画通り進捗している。

2. 今後の方針

継続

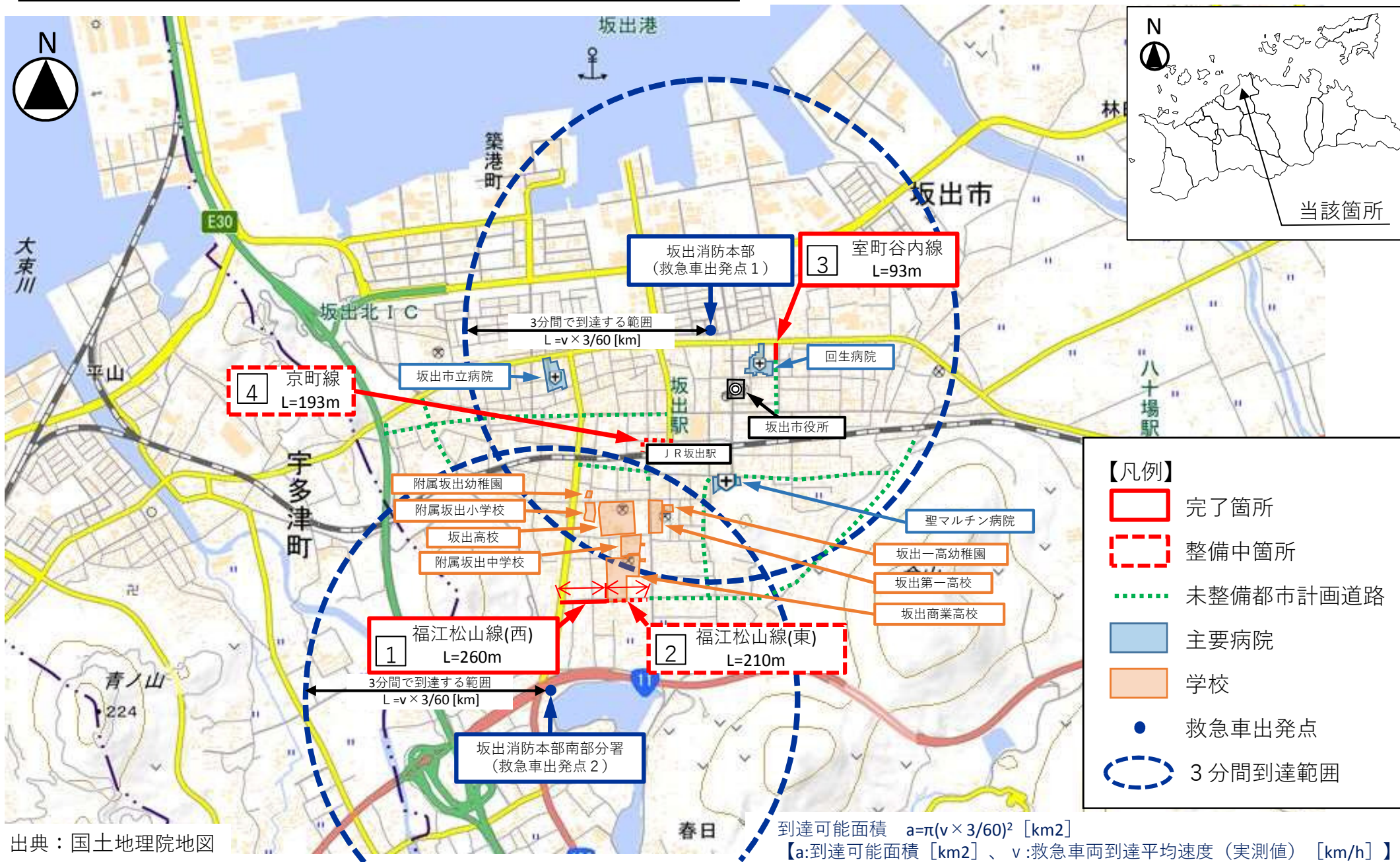
残る2路線についても早期の完成を目指し、計画を進めていく。

事後評価書参考資料

■ 事後評価(社会資本総合整備計画)

主要幹線から主要病院への
アクセス強化(防災・安全)

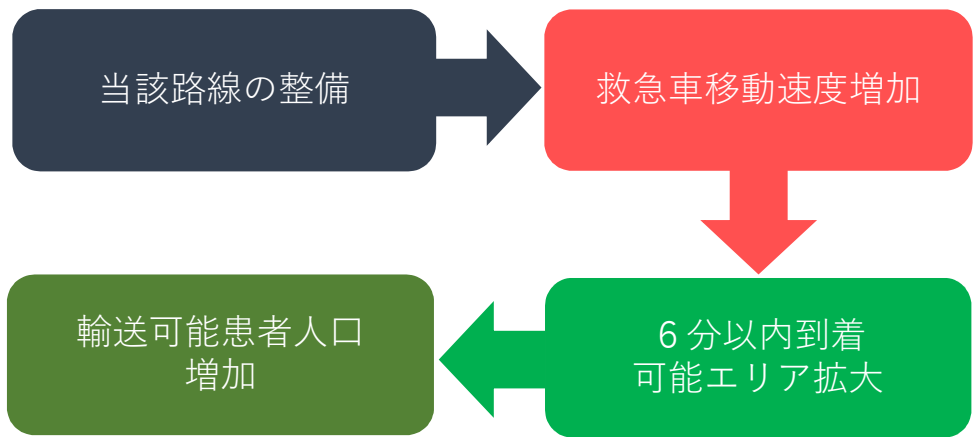
救急車両到達範囲のイメージ図



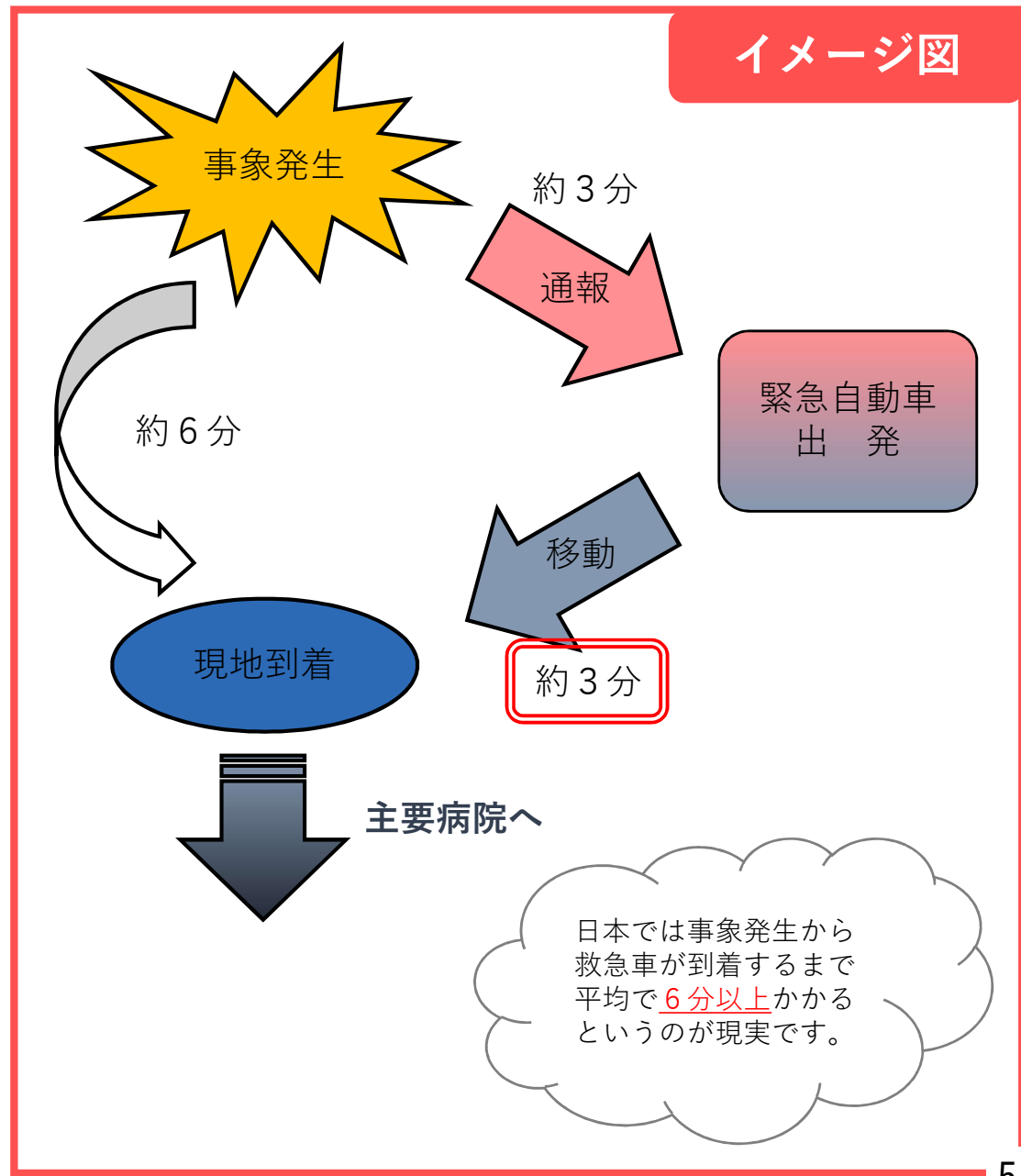
出典：国土地理院地図

到達可能面積 $a = \pi(v \times 3/60)^2$ [km²]
 【a:到達可能面積 [km²]、v:救急車両到達平均速度(実測値) [km/h]】

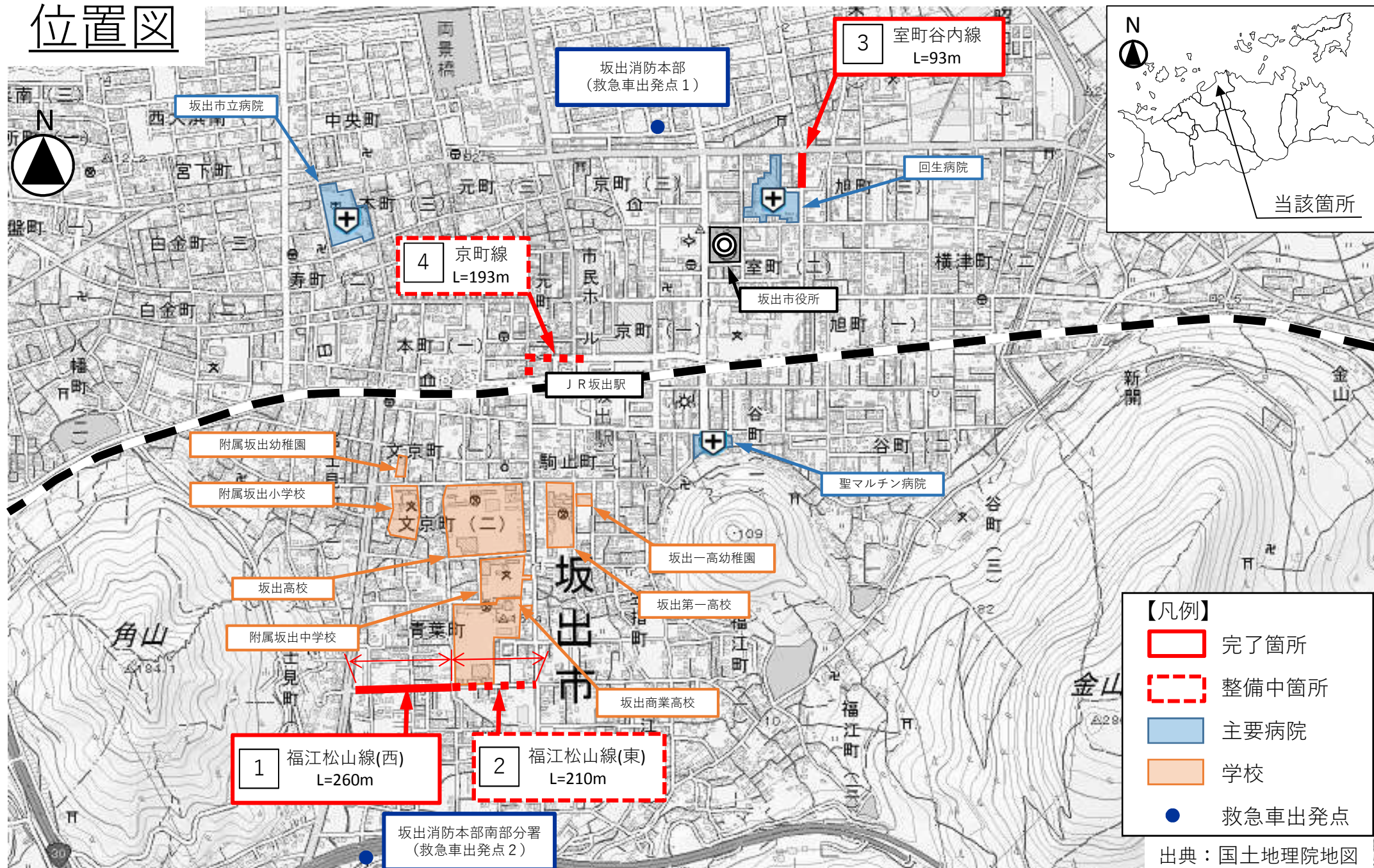
救急車両到達時間の目標設定



心臓停止が6分以上続くと死亡率は約100%になる。



位置図



事業概要

計画名	事業内容	整備箇所	整備延長	実施内容	計画期間 実施期間	進捗率 事業費ベース	備考
主要幹線から 主要病院への アクセス強化 (防災・安全)	現道 拡幅	① 福江松山線 (西工区)	260m	測量設計 用地買収 改良工事	H26～H29 H26～H29	100%	完了
		② 福江松山線 (東工区)	210m	測量設計	H29～H30 H29～H31	27%	計画期間に予定していた 測量設計は次期計画で実施
		③ 室町谷内線	93m	測量設計 用地買収 改良工事	H26～H29 H26～H29	100%	完了
		④ 京町線	193m	測量設計 用地買収	H26～H30 H26～H30	96%	完了

事業状況

整備完了箇所

- 1 (都) 福江松山線 (西工区)
整備延長 : L=260m
整備前



整備後



迅速に救急車両が移動できるよう2車線に整備し、歩行者等の安全確保のため歩道を整備した。

- 3 (都) 室町谷内線
整備延長 : L=93m
整備前



整備後



事業中箇所

- 2 (都) 福江松山線 (東工区)
測量設計実施中



- 4 (都) 京町線
測量設計・用地買収完了

